



装港小学校



二次元コードから
閲覧可能です。

休校になっても 子供の成長は 地域に住む人の希望!!

文部科学省は、中央教育審議会の答申<平成27年12月21日>の中で、子供たちの教育環境を取り巻く状況を、次のようにとらえています。「現在、児童生徒数の減少や多様化・複雑化する社会状況の変化等を背景に、小・中学校の統廃合や、高等学校の再編・統合が進んでいる。今後、少子化の更なる進行により、学校の小規模化に伴う教育上のデメリットの顕在化や、学校がなくなることによる地域コミュニティの衰退が懸念されており、各市町村の実情に応じた活力ある学校づくりの推進が求められている。」

本号では、本年4月からの休校を前に、人や地域の絆を深めている装港小学校を紹介します。

地域住民との交流会や 中央公民館装港地区と共催の「音遊びコンサート」を 開催

【地域の方との交流会】10/18, 11/13

心のこもったプレゼント、とても
嬉しいです。 <地域住民>

とても楽しかったよ。頑張っ
てくれたね。 <地域住民>

ボッチャ、モルッ
ク、伝言ゲーム、ク
イズなどがあります
よ。 <小学生>

これまでお世話になった地域の方々
に少しでも恩返ししたいと、みんなで
考え、準備しました。 <小学生>

【授業参観，家庭教育学級「おんがくこうじょう。音遊びコンサート♪」】1/14

♪君は宝物、誰ひ
とり宝物でない人は
いませんよ。♪♪
<おんがくこうじょう>

昔の遊び体験で、
駒回しが一緒にで
きて、よかったです。
<地域住民>

二分の一成人式で、
家族や地域の皆さん
への感謝の言葉を伝
えました。 <小学生>

子供たちの笑顔が見れて嬉しかったです。
私たちも子供と一緒に盛り上がりました。と
ても良い思い出になりました。 <地域住民>

私もコンサートに参加しました。皆
さんにとって、ふるさと“装港地区”
での楽しい思い出になったようで
安心しました。 <梅森 校長>



校長先生の「地域の宝と言われる子供たちが、自分たちから地域の方々に関わろうとする姿勢を、しっかりと支援したい。」という言葉が心に残りました。休校を見据えながら、地域住民や公民館等と連携して、子供を中心に「つながりづくり」「人づくり」「地域づくり」が展開されています。まさに“地域とともにある学校”です。